

自然と話そう、人と話そう!

# 安威川ニューズ

自転車に乗って安威川周辺地域を散策してみませんか?  
出会いを楽しむ、安威川サイクリングMAP

安威川ダムファンづくり会インタビュー  
人、自然、文化が交流する「地域づくり」を目指す

「安威川フェスティバル 2016」レポート  
いっしょに創ろう!みんなの安威川

VOL.4  
平成 29年(2017年) 1月号

## 市街地の家族や地元の方々 毎月ビオトープ活動を行っています。

平成27年3月から茨木市車作地区で、周辺環境の再生に取り組む活動が行われています。この活動は、多様な生きものが生息する場であるビオトープづくりとその環境を維持することを目的としています。

安威川ダム建設事務所では「車作ビオトープ愛好会」を立ち上げて、家族や地元の方々との育成管理・観察、無農薬のもち米づくりなどの活動を毎月2回行っています。一緒に楽しみながら汗を流しませんか?

車作ビオトープ愛好会にご興味、関心のある方は、ぜひご連絡ください。  
問合せ: 安威川ダム建設事務所 TEL: 072-626-6164



平成28年10月に、田植えでもお世話になった茨木市車作地区の農家の方にレクチャーを受けながら、「稲刈り」を行いました。大きく育った稲がトラックいっぱい積み込まれて、達成感を満喫しました。

## 安威川ダム関連カードを集めてみませんか?



- 安威川ダムカード**  
ダムのPRを目的として、全国のダム約500ヶ所が発行されるダムの紹介カード。安威川ダムでは現在、「建設中Ver.1.0」を配布しています。工事の進捗にあわせて、今後様々なバージョンのカードが登場する予定です。
  - 安威川ダムグリーンカード**  
安威川ダム周辺の道路・遊歩道沿いで、植栽・整備活動を行い、美しい自然環境を創生する「安威川ダム四季彩ロード整備プロジェクト」の苗木購入の基金へ募金いただいた方に、記念品としてお渡ししています。
  - 安威川ダムカレーカード**  
忍頂寺スポーツ公園 竜王山荘「レストランやまなみ」で販売中の「安威川ダムカレー」は、茨木市、茨木市観光協会、梅花女子大学と竜王山荘とのコラボで生まれました。ご注文の際に、もれなくお渡ししています。
- カード配布場所: ① 安威川ダム建設事務所(茨木保健所4階) / 安威川ダム情報交流センター(茨木保健所5階) / 安威川ダム資料館 / 忍頂寺スポーツ公園 竜王山荘 / ② 安威川ダム資料館 / ③ 忍頂寺スポーツ公園 竜王山荘 → 場所は1・2ページのマップをご参照ください。

## 安威川ダムファンづくり会 メンバー募集中!

安威川ダムファンづくり会では、ダム周辺の魅力的な地域づくりを目指しています。地域の活動団体やNPOなど、多様な主体も参加し、「安威川フェスティバル」の運営やビオトープ活動等に取組んでいます。ファンづくり会はどなたでも入会できます。また、活動に合わせて参加が可能です。お気軽にご参加ください。入会については、安威川ダム建設事務所(aigawa-dam-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp)あてメールにて。また、電話(072-626-6164)での受け付けもしています。

※入会にあたって会費は発生しません。※ファンづくり会の活動の際はメールにてご連絡させていただきます。

webページでは、ダム建設工事情報をはじめ、様々な取組みの最新情報を随時お届けしています!



安威川ダム総合情報サイト facebookページもぜひご覧ください

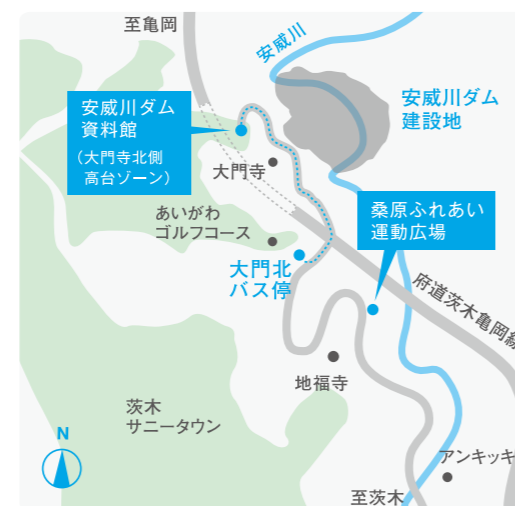
## INFORMATION

### 安威川ダム資料館の定期開館が始まりました。

安威川ダム建設地近くの大門寺北側高台ゾーン(※1)にある「安威川ダム資料館」は、ダム工事のPR施設としてだけでなく「ダム周辺の地域づくりの拠点」となることを目的として開設されました。ダム工事の進捗状況や地域情報の発信基地、里山・山間部地域で活動する人々の拠点として、安威川地域を愛するすべての人に開かれた施設です。資料館内には、安威川ダムや周辺の自然環境に関する解説パネルや、安威川流域の生物多様性を学ぶボード展示など、さまざまな学習教材が用意されています。ダムのことを学んだり、文化教室やワークショップなど様々な活動の場として活用してください。また資料館のある高台からは、安威川ダム建設工事現場の全景を一望することができます!ぜひ一度訪れてみてください。



### [安威川ダム資料館 所在地]



安威川ダム資料館は、安威川ダム全体の建設地すぐ近くの大門寺北側高台ゾーンにあります。

[阪急茨木市駅から]  
西口ロータリーから阪急バス「車作」行に乗り、「大門北」停留所にて下車。停留所から徒歩10分程度です。

### 安威川ダム資料館

場所: 茨木市大字大門寺97 大門寺北側高台ゾーン

開館時間(※2):  
毎週木曜日 13:00~16:00、  
毎月第3土曜日 10:00~16:00  
平成29年4月から第1土曜日も開館

問合せ: 安威川ダムJV工事事務所 TEL: 072-648-5464  
(※1) 大門寺北側高台ゾーンへは、9:00~16:00までの間には自由に見学可能です。  
(※2) 詳しくはホームページ(<http://www.aigawa.jp/>)もご覧ください。

### 「安威川ダム情報交流センター」へお越しください。

安威川ダムについて皆さんに知っていただくために、「安威川ダム情報交流センター」を開設しています。ダムの役割やダム周辺の環境保全対策について、広く一般の方々に情報を提供するとともに、ご意見を頂くことを目的としています。センター内では、ダム事業地周辺の立体模型やパース、パネルの展示、パンフレットの配布、ビデオ放映を行い、ミニ図書館も設けています。自由に見学・閲覧できますので、皆さんぜひお越しください。



### 安威川ダム情報交流センター

場所: 茨木市大住町8-11  
開館時間: 平日 10:00~16:00

※地下には駐車場がありますが、収容スペースに限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

(安威川ダム建設事務所ホームページ) <http://www.pref.osaka.lg.jp/aigawa/>

安威川ダム建設についてホームページを開設・運営しています。ダムの事業内容や環境保全対策について、わかりやすく解説したサイトです。過去の「安威川ダムニューズ」(※1)「安威川ニューズ」のバックナンバーが閲覧できるページ(※2)も用意しています。

(※1) 平成6年~平成25年に発行 (※2) <http://www.pref.osaka.lg.jp/aigawa/aigadum/damnews.html>

「安威川ダムファンづくり会」や「安威川ダム周辺ブランワークショップ」、「安威川ニューズ」発行等の取り組みは、大阪府安威川ダム建設事務所が、大阪府文化・スポーツ課と府立江之子島文化芸術創造センター(enoco)が実施する「プラットフォーム形成支援事業」を活用し、協働して推進しているものです。

<http://www.enokojima-art.jp/e/>



大阪府 安威川ダム建設事務所

〒567-0813 茨木市大住町8-11 TEL:072-626-6083 FAX:072-623-5963  
メールアドレス aigawa-dam-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp

このパンフレットは、企画から印刷まですべてを外注して作成しています。(36万部作成。作成費用1部あたり9.2円)

立命館大学 RISE・体育会自転車競技部のみなさん



自転車に乗って安威川周辺地域を散策してみませんか？

# 出会いを楽しむ、安威川サイクリングMAP

市街地から安威川沿いを自転車で走ると穏やかな水辺の景色、水鳥が遊んでいる姿が目に入ります。また、山間部まで行くと、美しい里山の田園風景や地元の方もおすすめするビューポイントから素敵な景色が望めます。少し遠くまで自転車を走らせて、新しい発見と出会いを楽しんでください。



【安威川ダム関連カード配布場所】

- d 安威川ダムカード
  - g 安威川グリーンカード
  - c 安威川ダムカラーカード
- 詳細情報：最終ページに掲載

## Course 1

ダムサイトコース (ショート) [15.2km]

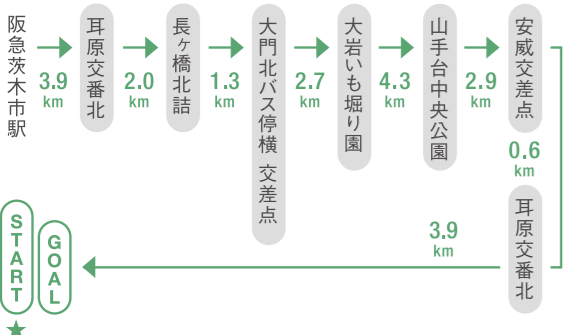
茨木の市街地から安威川沿いを走り抜けるこのコースは、穏やかな水辺の景色と水鳥の姿を楽しむことができ、安威川ダム資料館展望台では、安威川ダム工事現場を見渡せます。



## Course 2

里山周遊コース (ミドル) [21.6km]

茨木市街地から山間部に向かう中盤の坂道をゆっくり登りながら、市内を展望できるビューポイントや美しい棚田の風景が広がる自然豊かな茨木の里山を体感できます。



## Course 3

茨木南部周遊コース (ミドル) [26.4km]

安威川沿いの水辺の景色や、田園風景、風情ある古民家の町並みや遺跡など、観光気分でもゆっくり走って楽しむコースです。平坦な道が続き、車も少なく安心して走れます。



安威川ダムと周辺地域の魅力を伝える文化発信拠点。

安威川ダム建設地近くの大門寺北側高台ゾーンにある「安威川ダム資料館」は、「ダム周辺の地域づくりの拠点」となることを目的として開設されました。ダム見学に訪れる方たちへのPR施設としての利用のほか、「安威川ダム資料館 文化教室」と題し、野菜ソムリエから楽しく野菜を学ぶ「やさしい教室」や、里山活動や森林浴のリラクゼーション効果について学ぶ「森の教室」など、さまざまなイベントを開催しています。今後もこの資料館では、安威川ダムとその周辺の魅力を、みなさんに広く知っていただくための取り組みを積極的に行っていきます。ぜひご期待ください！

### 7 安威川ダム資料館

安威川ダム資料館の定期開館が始まりました。資料館横の展望台からは、いつでもダム工事現場をご覧いただけます。※安威川ダム資料館の所在地は、裏表紙の地図または、ホームページ (www.aigawa.jp/construction) をご参照ください。  
開館時間 毎週木曜日 13:00~16:00・毎月第3土曜日 10:00~16:00  
平成29年4月から第1土曜日も開館  
問合せ 安威川ダムJV工事事務所 TEL:072-648-5464

自分でお芋を収穫し、採れたてをその場で味わう。

茨木市大字大岩にある大岩いも掘り園は、ホクホクとした食感で甘味の強い「紅あずま」という品種のさつまいもが植えられています。毎年9月中旬からの期間限定でも掘り体験ができ、シーズン中は家族連れで賑わいます。11月初旬までの期間限定で、いも掘りみの場合は予約不要。また、併設のカフェスペースで、休憩も可！

### 8 大岩いも掘り園 (9月中旬から11月初旬まで)

茨木市大字大岩82 営業時間 9:00~16:00 (土・日・祝のみ) ※平日は団体のみ受付  
問合せ 茨木市観光協会 TEL:072-645-2020 (土・日・祝はつながりません)



車作の橋の上から集落と深谷を望む

## 山間部は、豊かな自然の魅力に溢れています！

山間部にまで駆け上がると、美しい大自然を眺望することができる「見どころスポット」がたくさん。少しがんばってトライすれば、まだまだ知らない茨木を発見することができます。

### サイクルスタンド

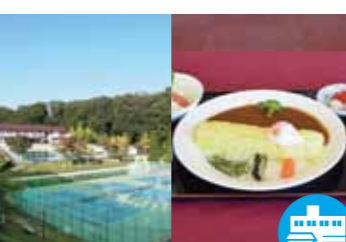


採れたて野菜と、季節限定デザート。

見山地区の標高は300~450mあり、寒暖の差が激しい立地を活かした高原野菜は、大きき味の濃さも抜群で、非常に鮮度が高く旨味があると評判。市内だけでなく市外からも、毎日たくさんの方が買いに来られます。また地元の食材を活かした季節限定のジュレートや、能勢の桜川の銘水と鮮やかな色合いが特徴の見山特産の赤紫蘇を使った、茨木のご当地サイダー「赤紫蘇サイダー」も大人気。店内の喫茶スペースでは、「見山の郷de愛定食」をはじめ食事メニューも充実しており、サイクリストたちの休憩ポイントとしても利用されているようです。

11 de 愛・ほっこり 見山の郷  
茨木市大字長谷 1131  
TEL:072-649-3328  
FAX:072-649-3348  
営業時間 9:00~17:00  
(11月~2月16:00)  
定休日 火曜日

### サイクルスタンド



サイクリストを癒やす、忍頂寺のオアシススポット。

総面積67,527平方メートルにわたる広大な敷地を有する、茨木市のスポーツ・レクリエーション施設。サイクルスタンドがあり、自転車を置くことができるので、サイクリング途中での休憩にも最適。「レストランやまなみ」では、パノラマの景色を眺めながらお食事もできます。また、2015年に茨木市、茨木市観光協会、梅花女子大学と竜王山荘とのコラボで生まれた「安威川ダムカラー」がレストランやまなみにて販売中です！

10 忍頂寺スポーツ公園 竜王山荘  
茨木市大字忍頂寺 1049 (※駐車場無料)  
TEL:072-649-4402  
定休日 12月29日~翌年1月4日まで  
(ご予約は電話で)  
※営業時間は施設間で異なります。  
http://www.ninchoji.jp

### サイクルスタンド



隠れキリシタンの里で、茨木の歴史をたどる。

キリシタン大名として有名な高槻城主・高山右近の領地であった千提寺の周辺では、かつて多くのキリシタン信者が暮らし、キリシタン教禁制後も「隠れキリシタン」として、信仰を守ってきました。この史料館では、「マリア十五玄義園」キリシタン刑像をはじめ、当時の信仰の様子を伝える隠れキリシタンの遺物を展示しています。

9 キリシタン遺物史料館  
茨木市大字千提寺 262  
TEL:072-649-3443 FAX:072-649-3443  
開館時間 9:30~17:00  
定休日 火曜日 (祝日は開館)・祝日の翌日 (日曜日の場合は開館)

## GO CYCLING! TO AIGAWA 自転車で安威川へ行こう！

安威川流域をはじめ茨木市の山間部には、箕面や高槻、京都方面から、たくさんのサイクリストが訪れます。そんなニーズにお応えして「安威川ダムファンづくり会」では、茨木市観光協会との協働により、茨木市サイクリングマップ「GO CYCLING! TO AIGAWA」を制作しました。マップに掲載されているコースは、初心者の方が気軽に散策できるコースから、サイクリストのトレーニングになるほどの、急勾配コースまで用意しています。豊かな自然と人の営みが、しっかりと共存する里山風景を、自転車に乗って体感してください。

「GO CYCLING! TO AIGAWA」と連動し、サイクリングスポット普及に向けて各所のご協力のもと、サイクルスタンドの設置活動を行っています。



サイクルスタンド サイクルスタンド設置場所



### サイクルスタンド

暮らしがもっと便利になる自転車屋さん。

スポーツバイクの初心者でも気軽に入れるサイクルショップ「KURASHI cycle」。店長は大阪から北海道までツーリングするほどの自転車好きで、豊富な知識や技術を教えてくれるから心強い。大切な自転車のメンテナンスをはじめ、サイクリングの拠点としても活用できます。暮らしがもっと便利になる自転車屋さんへ、友達や家族と遊びに行ってください。[GO CYCLING! TO AIGAWA]では、KURASHI cycleと一緒に、自転車のイベント企画やサイクルツアーを提案していきたいと考えています。

### 3 KURASHI cycle

茨木市末広町2-14  
ユートピア末広1F  
TEL:072-664-3196  
営業時間 平日 9:00~12:00  
13:30~21:00  
土・日・祝日 12:00~20:00  
定休日 水曜日 (祝日を除く)



住宅街にある前方後円墳の神秘的な森。

「太田茶臼山古墳(継体天皇陵)」は、前方後円墳で、全長226m、後円部径138m、低い台地上に築造された一重の濠をもつ古墳時代中期(5世紀)の古墳です。鳥居の向こう側に見える墳丘には大きな森があり、神秘的な佇まいを感じることができます。茨木市には他にも多くの遺跡が分布しており、茨木市立文化財資料館(6-2)の常設展示室では、遺跡分布模型を通して、各時代の遺跡・発掘された遺物や、神社・仏閣・史跡などを光と音と映像でわかりやすく解説しています。

### 5-1 太田茶臼山古墳(継体天皇陵)

茨木市太田3  
茨木市立文化財資料館  
茨木市東森長 3-12-18 TEL:072-634-3433  
開館時間 9:00~17:00  
休館日 火曜日(祝日は開館)・祝日の翌日(日曜日の場合は開館)



府道4号線の道路から南に広がる畑の風景



古民家がある懐かしい路地の風景

### いつでも焼き立てが食べられるパン屋さん。

材料や製法にこだわりながらも、安く美味しいものをモットーに100円代パンを常時200種類も揃えている手作りパン屋さん「パン工房シャルドン」。パンづくりの工程から店頭まで幅広く知恵を絞って工夫をしているから、いつでも焼き立てのパンが食べられます。一番人気のクリームパン(110円)は生地50gに対して自家製カスタードクリームが70gというボリューム。また、イートインスペースやテラス席では、パンと相性のいいコーヒーを無料で提供しています。朝4時から開店しているので、早朝からのサイクリングにおすすめです。



### 6 パン工房シャルドン

茨木市太田2-13-15  
TEL:072-626-3663  
営業時間 4:00~17:00  
定休日 月曜日・第3火曜日



茨木の旬がわかる自然食ランチ。

新鮮な旬の食材を通して、地産地消の暮らしを伝える「BONOCafe」。無農薬・減農薬で自家栽培された野菜の自然食メニューや手作りデザートは、朝一番に届いた食材で作られます。四季の変化を味わえるオススメの定食は、水と空気が綺麗な茨木市車作・泉原で丁寧に育てられた10種類以上の採れたて野菜と「きぬひかり一等米」、農林水産大臣賞をとった安元の清水養鶏場の卵と全てが茨木産。子どもたちの食育にも嬉しいお店です。

1 BONOCafe  
茨木市水尾 2-14-35  
TEL:072-632-5124  
営業時間 11:00~17:00  
定休日 日曜日・祝日



### 亀岡街道「宇野辺」の古い街並みを探索。

京都亀岡と大阪高槻を結ぶ亀岡街道沿いに位置する宇野辺は、旧家などの古い町並みを探索することができます。宇野辺の地名は、「井の辺」から転訛したといわれ、水が湧き出る土地柄でした。道沿いには用水路が目にとまり、地名の由来を喚起させてくれます。この亀岡街道を北へ進んで行くと、茨木市中河原町で西国街道と交差します。歴史を感じながら、ゆっくりとしたサイクリングも楽しみ方のひとつですね。

### 2 宇野辺の町並み



### 「大阪緑の百選」に選ばれている緑豊かな公園。

たくさんの緑に囲まれた「西河原公園」は、安威川川敷を含め、従来からの樹木や竹やぶ、用水路をそのまま活かした自然豊かな公園で、平成2年度には「大阪緑の百選」にも選ばれました。野鳥が飛び交い、アオスジアゲハなどの蝶やカトンボなどの姿も見られ、園内の深流には小魚が泳ぐなど、市街地での小動物の楽園となっています。また、ゲンジボタルの人工育成にも取り組んでおり、毎年6月前後に「ホテル観覧会」を開いています。

### 4 西河原公園

茨木市西河原3  
子供たちに人気の滑り台

# さまざまな活動をつなげていくことで、 人、自然、文化が交流する「地域づくり」を目指す。

茨木市環境教育ボランティア 天保 好博さん / 茨木市観光協会 事務局長 小池 伸一さん / bioa (ピオア) 代表 瀬口 和矩さん

## 豊かな森林を次世代に残していくためには、 継続性と新しいアイデアが必要。

「森林ボランティア」の活動では、茨木北部の山主さんと連携し合い、間伐をはじめとする森林の手入れを定期的に行っています。私たちの活動場所である森林は、大きく「天然林」と「人工林」に分かれます。それぞれに植生や手入れの方法が違います。人工林は、スギ・ヒノキなどの針葉樹をきちんと植林するので、一年中暗い森になりますが、落葉広葉樹が多い天然林では、冬になると明るい森になります。茨木の山が良いのは、この天然林がたくさんあるという点。森が明るい、オオタカなどが、上空から野うさぎの走っているところが見えたりするかもしれません。また、枯れ葉が土壌を豊かにしてくれるため、生態系、あるいは防災の観点からも健康的な森を担保しやすいと言えます。一方、人工林は、人間が作ったものなので、常に手を加えていかないと森に元気がなくなってしまいます。林業の担い手が少なくなってしまっている現状を考えると、私自身は、がんばって人工林を維持させていくことより、少しずつ天然林に近い状態に還していく方向を模索していくことが、有効なアプローチではないかと考えています。今以上に林業従事者が増えていくことはないだろうし、森林ボランティアの方々も高齢になってきているということもあります。未来の森林を豊かにしていくために、さまざまな角度からのアイデアと実践が求められていると思います。

## 茨木の資産である里山的自然を再認識し、 森林の実態や課題を知る機会になってほしい。

林業が成り立っていた時代には、植林した後、早い時期から間伐をくりかえすので、丸太のまま、杭や柵、工事の足場などに間伐材が使われていました。ところが現在では、その段階での手入れが遅れてしまっているために、間伐しなければならぬ木が太くなっているんです。そうなると、木の運搬にコストがかかる上、製材をしないと間伐材の利用ができなくなってしまいます。そのような状況において、ファンづくり会がスタートさせた「間伐材活用による森林保全プロジェクト」は、たいへん意義のある試みだと思います。テーブルや椅子、サイクルスタンドなどに間伐材を活用するということは、必然的に太い木が必要となります。また、間伐や運搬作業に、モノづくりをしたい学生やクリエイターが参加することで、少しでもコストを補っていくことができるかもしれない。なによりも、市街地の若い人たちが茨木の資産である里山的自然を再認識し、森林の実態や課題を知る機会になりますね。私が活動拠点としている「茨木市里山センター」には、製材に適した設備もあります。それらを上手につなげていき、最初は小さくてもいいので、計画的に、しっかりと継続できる循環のしくみづくりを期待したいと思っています。



天保 好博 Tempo Yoshihiro

茨木市環境教育ボランティア

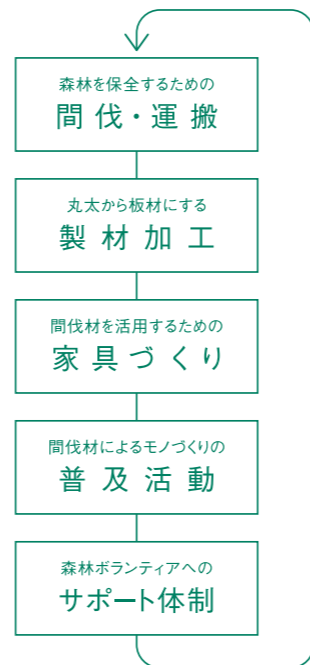
大学で森林生態学を学び、森林がもたらした面積が残っていることの価値を知りました。森林ボランティアグループ「茨木ふるさとの森林(もり)づくり隊」(平成6年発足)の活動を通じて、山の持ち主さん達を応援したいと考えています。茨木市の森林は典型的な里山林の変遷を辿っているの、シカやイノシシ等の野生獣と人間が共存していく上でのヒントを、見つけることができるのではないかと期待しています。

## 間伐材活用による 森林保全プロジェクト

茨木市北部の里山周辺地域に広がる美しく豊かな森は、近年、林業を営む人々の減少によって、間伐をはじめとする「森林の手入れ」が十分に行き届いていない状況です。安威川ダムファンづくり会では「間伐材活用による森林保全プロジェクト」を発足しました。日々、森を守るための活動を続けておられる森林ボランティアの方々をサポートするとともに、間伐材を活用したモノづくりを実践し、多くの人たちをつないでいくことで、森を守るための「持続可能なしくみづくり」を目指しています。



安威川フェスティバル2016では、大阪府立大学工業高等専門学校の学生と一緒に「間伐材でおもてなし」というプログラムを実施。里山サポートネット、森林ボランティアの協力のもと、間伐材の運び出し、製材、家具づくりのワークショップを行い、フェスに登場される方々を間伐材のテーブルと椅子でおもてなしをしました。



## 茨木にしかないサイクリングとは、 人と人の交流を生み出していくこと。

三年くらい前から、茨木におけるサイクリングの普及には可能性があると考えていました。一方で、単に観光のアクセスとしてではなく、市外からも市内の人たちにも楽しめるサイクリングの有り方や、コンセプトを見据えておかないと、一過性のムーブメントとして認知されてしまうのではないかと課題も同時に抱えていました。そんな折に、安威川ダムファンづくり会で「サイクリングマップを制作しよう!」という提案があり、みなさんと一緒にディスカッションを重ねたり、実際に自転車で行った人の意見やアイデアを落とし込んでいくプロセスを共有していくうちに「茨木にしかないサイクリング」の方向性が見えてきました。茨木市は、人口28万人のほとんどが市街地で暮らし、山間部では過疎化が進んでいます。この両者をつなぐ橋渡しとして自転車機能が、遊びやスポーツに留まらない「文化」につながっていくのではないのでしょうか。また市街地の人たちに、まだまだ知られていない山間部の美しい風景や新鮮な農産物をはじめ、自然を大切にしている人々の想いや歴史観なども含めて、自分たちの「資産」として捉えてもらえないだろうかという考えに至りました。サイクリングを通して人と人の交流を深めていく。その機運を育む一歩を踏み出したと考えています。



安威川ダムファンづくり会では、茨木市サイクリングマップ「GO CYCLING! TO AIGAWA」を制作しました。サイクリングによる茨木の新しい楽しみ方を提案するとともに、サイクリングスポットの普及に向けて、各所のご協力により、サイクルスタンドの設置を行っています。また、安威川フェスティバル2016にて、「サイクリストミーティング」を実施。大学生をはじめとする自転車好きの方々が集い、これからの茨木市におけるサイクリングの楽しみ方、可能性について意見交換を行いました。

## まちと山間部をつなぐ環境教育は、 地域活性化の重要な手段。

私自身のテーマが「まちと農村をつなぐ環境教育の推進」。今年からは、そのために必要な「出会いの機会」と「担い手の育成」を活動の中心に据えています。茨木市の人口が約28万人、山間部で暮らす人は3,000人くらいだと聞いています。賑やかなまちから車で20分ほど行ったら農山間地という特徴があります。まちと農山間地が非常に近い茨木では、環境教育は必要不可欠なもので、清溪小学校で取組んでいるピオトープづくりも、その一環です。子どもたちの発達に合わせた環境教育の推進は、知識だけではなく経験として染み込んでいくんですね。土や水に触れたり、樹木や生物などを観察したり、時間をかけて変化を見ていく。自然の中で感性を身につけた子どもたちが、将来の地域課題の解決や社会を担う人材になると強く思っています。そのことを多くの人々に伝え、共感の輪を広げていかなければならない。私は、見逃されがちな茨木の自然環境を知ってもらうために、里山で暮らす方々と協働で、環境教育の教材づくりやまちの小学校などに地域資源として提供していく仕組みづくりと、学校教育での展開を模索しています。この活動を通じて、まちと農村が一体となった「自他に誇れる茨木」を創っていければと考えています。



茨木市立清溪小学校では、「ピオトープづくり」を実施しています。教科書ではできない、体験型の環境教育を継続的に実践することで、自然環境や生物多様性を、しっかりと身につけた「まちづくりのリーダー育成」につなげていきます。



小池 伸一 Koike Shinichi

茨木市観光協会 事務局長

観光協会として、春は桜祭り・講演会、夏は親子バスツアー・茨木フェスティバル・茨木餅天花火大会、秋は黒井の清水大茶会・安威川フェスティバル、冬はいばらき光の回廊などを実施。その他、各種媒体でのプロモーション活動。安威川ダムファンづくり会プロモーション部会に参加。



瀬口 和矩 Seguchi Kazunori

bioa (ピオア) 代表

会社員時代に人間にとって自然の環境がとても重要なことに気づき、平成7年より多くのピオトープを活用した環境教育や自然環境の保全・再生・創出事業に関わる。行政や企業との協働による自然再生事業や環境教育、学生と連携した環境教育プログラムの開発、地域と連携した自然再生等も現在進行形で実施している。現在、いくつかの環境NPOの役員を歴任。平成22年にbioaの前進の団体を設立、現在に至る。



【安威川フェスティバル 2016 レポート】

## 次世代へつなぐ、学びと出会いの場

### 「安威川フェスティバル 2016」が開催されました。

平成28年10月16日、3度目となる「安威川フェスティバル 2016」は、茨木市の「桑原ふれあい運動広場」「大門寺北側高台ゾーン」2カ所の会場で開催されました。清々しい秋晴れのもと、約1300名の方にご来場いただき、大盛況のフェスティバルとなりました。「次世代へつなぐ出会いの場」をテーマとし、安威川周辺の自然を守り、創造的な地域づくりを考え、実践する人たちが出会う交流の場を目指して、市街地と山間部の活動が一同に会しました。前回同様、「自然に学ぶ」「文化に学ぶ」「ダムに学ぶ」「つなぐプログラム」という4つの方向性にもとづいて、40以上のプログラムを実施し、子どもから大人まで楽しめる、多彩なプログラムを展開することができました。「自然に学ぶ」は、安威川流域の生物多様性をクイズ形式で遊びながら学べるプログラムや、茨木のまちの歴史・環境について学ぶ「環境クイズ」、安威川に生息する水生生物の生態展示や昆虫標本などの環境教育プログラムのほか、「丸太切り体験」「どんぐりポットづくり」などを実施。また、安威川上流漁業協同組合による「アマゴのつかみ捕り」は子どもたちに大人気でした。「文化に学ぶ」は、食育をテーマとした「踊ってつらくろ！ペットボトルピザ」や「宙いも

スイーツ」「見山の郷」「茨木秋の収穫祭」「生保コメ・サイ菜クラブ」など、お米や野菜の販売等を通じて、地元食材を楽しむプログラムが実現しました。「ダムに学ぶ」は、ダム建設の現場で活躍する大型重機に試乗したり、実際の工事現場をバスでまわされる「ダム工事現場体験ツアー」では、間近で見る重機の大きさに大人も子どもも大興奮。家族連れのみなさんにも楽しんでもらい、ダム建設の状況をお伝えすることができました。「つなぐプログラム」は、地元6地区のスタンプを集めて景品がもらえる「スタンプラリー」、大阪府立大学工業高等専門学校の学生と協働でつくった間伐材のテーブル・椅子を会場に設置する「間伐材でおもてなし」や、サイクリングによって安威川周辺地域の魅力を再発見する「サイクリングマップ」の配布と「サイクリストミーティング」を行いました。3年目を迎えて、リピーターの方々や口コミで集まっていたいただいた方が増え、安威川フェスティバルが、みなさんに広く認知され、地元のお祭りとして定着しはじめたのではないかと実感することができました。来期に向けて、さらに楽しんでいただけるフェスティバルとなるよう創意工夫を続けていきたいと思ひます。

桑原ふれあい運動広場



大門寺北側高台ゾーン



## 安威川フェスティバル 2016のコンセプトは 「いっしょに創ろう！ みんなの安威川」

市街地と山間部、地元の方々など、  
たくさんの人の想いがつながって実現したフェスティバル。  
さらに交流を深め、創造的な地域づくりを目指していきたい。

・たくさんの学生にサポートしていただきました。



大阪府立大学工業  
高等専門学校

「間伐材でおもてなし」でテーブル・椅子づくりに参加しました。様々な年代の方が、環境保護について考えるきっかけを見つけれられる素敵な場所だと感じました。

追手門学院大学  
キャンドルナイト

「追大キャンドルナイトのPRと地域活性化につながる」と考え、参加しました。参加者の方々との交流することができ、茨木市に対する好感度が上がりました。

学生団体びおぶろ

「安威川立体自然図鑑」というブース運営で参加しました。地元の小学生が多かったことから、地域に根ざしたフェスティバルなんだということを実感しました。

関西国際大学  
(アウトドアサークル)

「さまざまなプログラムのサポートをさせていただきます。思っていた以上に来場者が多かったので驚きました。今後は地域活動に参加していきたいと思ひます。」

関西大学KUMC

「安威川ダムが環境保全にも力を入れており、ダムを通じて地域の人と環境をつなげられる可能性を感じました。今後はブース出店をしてみたいと思ひます。」

立命館大学  
RISE・体育会自転車競技部

「サイクリストミーティング」に参加しました。教育に熱心な来場者が多い印象を受けました。今後は行政と協働による自転車普及活動に参画したいと思ひます。」

・地元の方々との協働によって実現できたフェスティバル。

くままつり  
車作地区自治会長  
北浦春雄 さん



「フェスの認知が高まってきたように感じました。これからも地域が協力し合って、継続してける仕組みをつくりたいですね。」

おおいわ  
大岩地区自治会長  
大西 稔 さん



「現場ツアーは、まさに生きた社会見学。ダム完成に向け、みんなで将来の地域づくりを考える場」にしていきたいですね。」

しょうぼ  
生保地区自治会長  
中野幸男 さん



「地元で採れた米と野菜の販売で参加しました。今後も楽しく続けていけるよう、みんなで一緒に考えていきたいと思ひます。」

だいまんじ  
大門寺地区自治会長  
川上要次 さん



「フェスは多くの人で賑わったと聞いています。安威川ダムが将来の世代にとって愛され、頼いの場となることを願っています。」

くわのほら  
桑原地区自治会長  
安達義春 さん



「夢中で楽しんでいる子どもたちの姿が印象的でした。ぜひ地域の恒例行事として定着していくことを期待しています。」

あい  
安威地区自治会  
連絡協議会 副会長  
乾 正明 さん



「フェスを通じて、地区同士のつながりが深まったのが良かったと思ひます。次回の開催を楽しみにしています。」

### Dam Topics

#### 人にやさしく、環境にやさしいダム完成に向けて建設工事が進んでいます。

安威川ダムは、淀川水系安威川の大阪府茨木市北部に建設する治水ダムです。洪水調節、流水の正常な機能の維持、下流河川の環境改善を行います。

